



つゝじヶ丘だより東京

つゝじヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つゝじヶ丘同窓会東京支部 会長 佐々木 太郎
 〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL&FAX 03-5609-9881
 メールアドレス jimutd-tokyo.com
 印刷所 三美印刷株式会社 題字 細見 紀子(14 回生)

<第 17 回総会・懇親会特集号>

「この坂から」「志高く」
 北海道函館西高等学校長

小松 信 夫



つゝじヶ丘同窓会東京支部の皆様には、日ごろより母校の教育活動に對して格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。創立 110 周年記念式典や、昨年度の図書局の全国大会出場に際しまして、特段のご支援を賜り重ねて感謝申し上げます。

新緑の臥牛山に抱かれる母校からは、今朝も駒ヶ岳や津軽海峡、眼下に函館港や市街地が見渡せます。新幹線効果もあって観光客で賑やかな中を、伝統の制服に身を包んだ生徒たちが元気に坂を登ってきます。ハリストス正教会の鐘の音が聞こえる学び舎には、生徒たちが授業や部活動に励む姿がふれています。

函館山の頂を仰いで坂を登り、100 万ドルの夜景に感激して家路につき、開港地の歴史と文化の息吹を包まれて学ぶ生徒たちには、故



郷への愛着と誇りが自然に満ち溢れ、地域での様々なボランティア活動に熱心に取り組む西高生、素直で明るく礼儀正しい西高生と地域からも高く評価されています。

部活動も活躍を続けています。昨年度は、インターハイには陸上競技部が、全国高校総合文化祭には書道部が出場しました。特に書道部の若山翔くんは「文部科学大臣賞」の荣誉に輝き、日本一を極めました。また、全国高校文芸コンクールでは、俳句部門で河野光紀さんが 3 位を獲得しました。文芸部の斎藤亜美さんは今年度の全国高校総合文化祭の出場をすでに決めていきます。全道大会には多くの部が進出しています。

これらの活躍は、諸先輩方が培ってこられた伝統のおかげです。その伝統を誇る母校と故郷にも少子化の波が押し寄せています。今年度入学生から 3 学級になり、平成 31 年 4 月に本校と函館稜北高校が統合し、1 学年 6 学級の新たな高校に再編されることが北海道

教育委員会より発表されました。現在、両校教職員による統合推進委員会を組織し、未来の子どもたちにとって一層魅力あふれる学校づくりに向けて協議を重ねております。使用校舎は本校です。歴史と文化が薫る西部地区唯一の高等学校として、この恵まれた環境を活かし、故郷に誇りを持ち世界に羽ばたく若者、地域の次代を担う若者を育む学校づくりを進めます。「志高く」という素晴らしい校訓のもと、「この坂から」夢に向かって船出し、現在ご活躍のつゝじヶ丘同窓会東京支部の皆様が培ってこられた伝統を大切にしながら、新たな時代に向かう事になります。

八幡坂や日和坂を登って通学したという共通の想い出は、これからも未永く続きます。今後の卒業生にとっても、同窓の諸先輩方のご支援や繋がりは大切な財産です。皆様の温かいご支援を新たな時代の卒業生や在校生にも、引き続き賜りますようお願い申し上げます。

また、東京や関東方面に進学や就職する卒業生もおります。皆様のお仲間に加えていただいで、つゝじヶ丘同窓会東京支部がますます発展されますことを衷心よりご祈念申し上げますとともに、佐々木会長様はじめ皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

統合推進委員会に

期待する

東京支部会長 佐々木太郎



今年の前日に同窓会の会報担当者から電話があり、東京支部として

函館西高と稜北高の統合問題に対する意見を求められました。本部の会報で校名や同窓会のあり方などについて議論をしたいということのようでした。

しかし高校の統合は行政の問題であり、少子化と函館市の人口減少が続く中ではやむを得ないし、まして同窓会の統合などについては時期尚早とぐずぐずしていたら、3月に発行された本部の会報には私が東京支部のホームページに今年正月に書いた挨拶文がそのまま転載されていました。

昨年10月に第1回の「統合推進委員会」が開催され、そのニュースが稜北高校のホームページに掲載していたので、はじめて統合の具体的なことを知りました。それによると、西高は平成31年3月に閉校

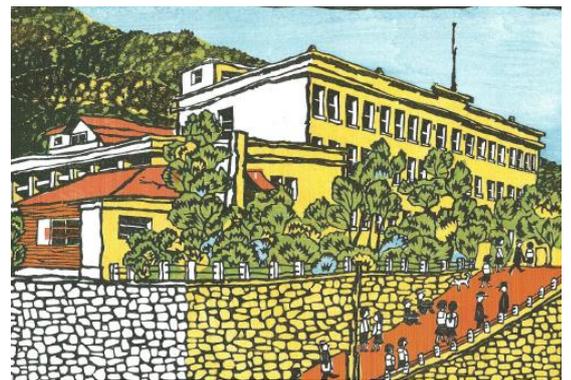
になり、在校生は今の西高の校舎を使って新設される高校に引き継がれること、一方稜北高校は、平成31年度から募集を停止し在校生の卒業を待つ平成33年3月に閉校になること、平成31年度には新設高校で今の西高と稜北高を合わせた6クラスの生徒募集がなされること、などでありました。

校舎は西高をそのまま使うし、西高の在校生は新設高校へ自動的に移行するのであれば、両高校の再編・統合とはいうものの、校名はともあれ、実質的には西高が存続しその募集人員の枠を単に現在の2倍にするだけのことではないかという疑問がわきました。

西高も稜北高も最盛時はそれぞれ1学年10クラスありましたが、



開校時の北海道庁立函館高等女学校



昭和55年までの旧校舎

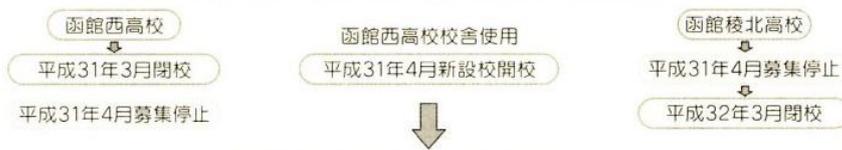
団塊の世代が終わり、全道1区の大学区制になってから、生徒数は減少の一途をたどってきました。最盛期に函館市の西部地区には2つもデパートがありました。駅前、五稜郭に移転してしまいましたが平成30年には1校のみになってしまいました。新幹線の開業などで観光客は訪れるものの、さびれてしまった函館山中腹の高校にはたして6クラスもの生徒を集められるだろうか、というのが次に起きた疑問でした。

多分回答は、新設校が地域性を超えた生徒を惹きつける魅力を持つかどうかにかかっているのではないかと思われます。かつてラグビーの名門だった函館西高の体育教師が稜北高に転勤するとともに稜北高が花園の常連になった例も

あります。良い学校にはよい生徒が集まります。統合推進委員会はそのこと踏まえて、我々の後輩が新設校に大勢集まり、楽しい高校生活を送れるよう検討されることを期待したいと思います。

新設校開校と西高校・稜北高校の今後

平成31年4月に新設校が開校し、西高校・稜北高校は募集停止となります。なお、平成29年度・平成30年度は両校ともに新入生を募集します。



平成29年度・平成30年度入学生の在籍について

- 函館西高校 → 平成29年度入学生が3年生、平成30年度入学生が2年生となる平成31年4月に新設校(西高校校舎)のそれぞれ2・3年へ転学となります。(場所は変わりません。新設校卒業)
- 函館稜北高校 → 平成29年度入学生・平成30年度入学生ともに函館稜北高校の2・3年生として在籍します。平成30年度は2・3年生の在籍。平成31年度は3年生のみの在籍。(稜北高校で卒業)

「北海道函館西高等学校同窓会会報」21号より。(平成29年3月1日発行)

第 17 回 つゝじヶ丘同窓会東京支部総会・懇親会式次第

開催日 平成 29 年 5 月 20 日(土曜日)

時 間 12 時 00 分 ～ 15 時 00 分

場 所 椿山荘 4F ジュピター

司 会 学年副幹事長 佐藤 雅英(18 回生)

— 総 会 —

- ・開会宣言
- ・物故者黙祷
- ・活動報告

副会長 高橋 順吉(17)

司 会

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

— 懇親会 —

- ・会長挨拶
- ・来賓紹介
- ・来賓挨拶

会 長 佐々木 太郎(14)

司 会

つゝじヶ丘同窓会本部

会 長 中山 浩一 様(9)

函館西高等学校

校 長 小松 信夫 様

- ・乾 杯

< 歓 談 >

- ・アトラクション

ギター演奏

市野 修一(17)とその仲間

- ・函館港踊り
- ・校歌斉唱(高女・西高)
- ・応援歌
- ・閉会挨拶

全 員

歌唱指導 青木 保(21)・根本 修(22)

東京支部応援団有志

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

北海道庁立函館高等学校校歌

一、巴の港朝夕に

出で入る船の帆柱の
しげき学のかずかずは
世の海渡るみおつくし
教のまにまに艱苦にたえて
真心厚き女子(おみな)とならん

二、春は湯の川リリーつみ

秋は大沼舟遊び
冬は四方山白雪の
玉もてかざる銀世界
自然の靈氣を我身にうけて
清き操の女子(おみな)とならん



北海道函館西高等学校校歌

一、春は弥生の草萌えて

つづじヶ丘に花咲けば
流るる空の雲は淡し
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
自由の鐘の音 窓に鳴れば
情操をたもちて 共に立てよ

二、北の港の丘のもと

巴の海に新潮の
岬をめぐる声はひびく
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
希望は生まれて 胸にみてば
大志をいだきて 共に立てよ

三、秋は臥牛の松の風

栄枯の夢を歌えども
北斗の影は天にかかる
向学の友群れてここに
集えり ああ君 われら若く
ひとみは冴えたり いよいよ深く
真理を求めて 共に立てよ

北海道函館西高等学校校応援歌 No. 2

一、臥牛山麓 風荒く

怒濤逆巻き 狂うとも
たゆまぬ健児が 血と汗の
日頃の力を示すは今
おお おお 我等が選手
我等が選手 今ぞいけ

二、つづじヶ丘の西高に

試練重ねし 幾星霜
母校の名誉は 双肩にあり
勝利は常に 我にあり
おお おお 我等が選手
我等が選手 今ぞいけ



第 17 回総会・懇親会 出席者一覽

【来 賓】(敬称略)

- ・函館西高等学校校長 小松 信夫
- ・つゝじヶ丘同窓会本部長 中 山 浩一(9)
- ・関西支部会長 中村 浩(9)
- ・札幌支部幹事代表 菩提寺 孝幸(33)
- ・西高 32 回生恩師 吉田 義昭
- ・白楊ヶ丘同窓会東京支部副支部長 垣坂 清
- ・関東青雲同窓会幹事長 横井 透
- ・東京函商同窓会会長 道下 佳拓
- ・幹事長 三益 善信
- ・函工同窓会関東支部支部長 本 間 和吉
- ・函館ラ・サール学園同窓会東京支部副支部長 工藤 博己

【会 員】(同回生はクラス順)

* 5 月 2 日現在

- 高女 37 染木トシ、田楨諒子、島本 玲子
- 高女 38 小西 弥生
- 高女 41 小林昌江、丹代京子
- 女高 2 成田慶子、中村トク子、荒 木和子、吉元芳子、高木清

- | | | | | | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 西高 1 | 新高義克、松本洋子、茂木 誠子 | 西高 1 | 忠勝、高野教子、長津俊、堀口六壽、森加代子、佐藤 英佐子、三村寿雄、広田悦 子、炭田美規子、坂本幹男、 小玉正義、斎藤勝美、小越 勇、森越勝、中山悦子、花 木瞳、白石一恵 | 西高 20 | 桜井雅幸、藤川巖、津野田 敏子、高木智宏、井田幸子、 二階堂功、矢澤弥生、加藤 貞子、松田陽一、牛田欣也、 大友理映子、東出龍治、板 垣成人、守屋厚子 |
| 西高 2 | 廣瀬和也、納代鉄也、松田 守正 | 西高 2 | 山崎陽子、佐々木太郎、村 本茂子、天野美秋、平田敦 子、堀内洋子、新野繁信、 竹森利則、小鳥光枝、洞田 雅子、若林郁雄、稲田一郎、 小板俊昭、釜范勝、吉見芳 彦、原田吉隆、細見紀子、 中村宏子、田端冴子 | 西高 21 | 砂戸淳一、平智則、青木保 大谷雅彦、根本修、武石義 正 |
| 西高 3 | 山村勉、三上文子、柴田祐 治、長澤清司、徳田安正、 高橋幸夫 | 西高 3 | 木村隆夫 | 西高 22 | 小林多美、佐藤好正、佐々 木雄治、関口信也、京極信 良、福田康典 |
| 西高 4 | 宮崎繁、柴田哲夫、木寺章、 郷内繁 | 西高 4 | 中山栄二、猪しまこ、村元 隆子、滝口清、佐々木次郎、 鈴木卓雄、対馬和子、小海 老沢秀夫 | 西高 23 | 飯田ゆう子、野口卓史 |
| 西高 5 | 藤代カヨ子、小野寺忠之、 西牧誠、吉田修三、塚本睦 子、太田香澄、長澤慎二、 粕谷陽子、佐藤光子 | 西高 5 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 24 | 古館一幸 |
| 西高 6 | 笠川雅彦、時田八郎、塚本 善夫、東郷豊、奥村峻之、 西野省三 | 西高 6 | 折田信一、浜勝信、中川隆、 佐藤雅英、藤井正昭、河野 真利子、馬場政平、竹田光 男、松田邦男、菊地讓次、 茅原青子、西田吉克、花田 貴宣、吉田厚、能登谷公、 酒井哲美、安原秀樹、三浦 正樹、渡辺讓一、伊藤愛子、 岩瀬友子、山本純子、水上 幸江 | 西高 25 | 熊谷真弓、三上昭子 |
| 西高 7 | 土井功 | 西高 7 | 伊藤信一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 26 | 飯田ゆう子、野口卓史 |
| 西高 8 | 工藤敬 | 西高 8 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 27 | 熊谷真弓、三上昭子 |
| 西高 9 | 本田啓、徳田紀美子、森英 爾、中村紀之、北川佳子 | 西高 9 | 鈴木卓雄、対馬和子、小海 老沢秀夫 | 西高 28 | 長谷川好広、山越准司、 佐々木雅子、矢富綾子、 佐々木直樹、高田禎哉、本 間貴之 |
| 西高 10 | 高見康夫、福井達郎、小嶋 俊昭、桜川薫子、徳永豊吉、 松本信男、村田千佐子 | 西高 10 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 29 | 長谷川好広、山越准司、 佐々木雅子、矢富綾子、 佐々木直樹、高田禎哉、本 間貴之 |
| 西高 11 | 菅原靖夫、田村宗夫、岩尾 紘一、岸田信高、植木清明、 村岡光祐、深江雅子、若林 英毅、神田敢司、石橋洋嗣、 新井眞沙子 | 西高 11 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 30 | 石馬場裕子 |
| 西高 12 | 外岡勝彦、大塚育男、小川 正典、布施健堂、伊藤諄、 小河大三郎、最上龍一、石 山弘子 | 西高 12 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 31 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 13 | 木村禱夫、根本弘子、金谷 山弘子 | 西高 13 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 32 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 14 | 山崎陽子、佐々木太郎、村 本茂子、天野美秋、平田敦 子、堀内洋子、新野繁信、 竹森利則、小鳥光枝、洞田 雅子、若林郁雄、稲田一郎、 小板俊昭、釜范勝、吉見芳 彦、原田吉隆、細見紀子、 中村宏子、田端冴子 | 西高 14 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 33 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 15 | 木村隆夫 | 西高 15 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 34 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 16 | 中山栄二、猪しまこ、村元 隆子、滝口清、佐々木次郎、 鈴木卓雄、対馬和子、小海 老沢秀夫 | 西高 16 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 35 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 17 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 17 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 36 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 18 | 折田信一、浜勝信、中川隆、 佐藤雅英、藤井正昭、河野 真利子、馬場政平、竹田光 男、松田邦男、菊地讓次、 茅原青子、西田吉克、花田 貴宣、吉田厚、能登谷公、 酒井哲美、安原秀樹、三浦 正樹、渡辺讓一、伊藤愛子、 岩瀬友子、山本純子、水上 幸江 | 西高 18 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 37 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |
| 西高 19 | 川瀬俊吉、原島邦子、浅倉 幸江 | 西高 19 | 大西裕子、斎藤光子、櫻田 俊行、工藤純一、高橋俊和、 高橋順吉、谷杉栄策、竹澤 秀明、市野修一、鴻池佳衣 子、岩片文子 | 西高 38 | 平野明美、小山和子、草皆 紀子 |



返信葉書からのメッセージ

*4月28日までに欠席のご連絡を頂いた方々のメッセージです。

浅岡文子(高女31) 新幹線が出来、大喜びで早速いつてきました。なつかしい母校と遺愛幼稚園に80年前昔を偲び、楽しんできました。

伊規須タカ子(高女32) 本人高齢の為代理です(甥)。杉並区内のホームにて元気に暮らしております。皆様には宜しくとのことです。

永井たか(高女34) 総会さぞ御盛会の事と存じます。毎度御世話様でございます。年を重ねようやく日々過ごして居ります。大好きな函館で穏やかに。森谷セツ(高女35) 85才まで54年間医業を続け、86才より老後を楽しんで居ります。

小倉フサ(高女36) あし、こし、弱り、残念ながら欠席します。昭和(高女)も遠くなりにけり、です。

谷本かう子(高女36) いつのまにかヨワイ90に達し、皆様のお世話になる事のみ多くなつて、お口のみ達者です。今後ともよろしくお願い致します。江口和子(高女36) いよいよ90才、年相応体にあちこち故障だらけですが、何とか一人で頑張つて居ります。昨年6月2人の娘についてきてもらい、懐かしい函館へ行って参りました。函館山からの美しい夜景、おいしい食べ物、楽しい5日間、私の最後の函館でした。御盛会をお祈り申し上げます。

庄司ヨシ(高女37) 都心に住居故、3婦人団体に所属、現在も世界の平和を願つて努めております。

栗原達子(高女37) おかげ様で、心身共元気で忙しくしております。

白幡栄子(高女38) 車イスの生活の為、皆様に御迷惑と存じ欠席させていただきます。

長谷川弥生(高女39) 現在入院中(多摩丘陵病院)につき欠席いたします。

(代筆 長男 長谷川透)

鈴木八重子(高女39) 傾聴のボランティアをしています。

堀江淑(高女40) 1年ほど前に藤沢大鋸の老人ホームに居を移し、横浜の自宅を整理の為(行き往来)をしています。

成田英子(女高1) 益々の御発展をお祈りします。御連絡ありがとうございます。

山中照子(女高2) 3年半前に自宅内でバランスを崩し、足腰を痛め、完全に治癒していません。ご盛会をお祈りいたします。

佐賀陽子(女高2) 足を痛めて残念乍ら欠席致します。御盛会をお祈りします。

高木清子(女高2) 体調が悪く歩くのが大変で欠席致します。ご盛会をお祈り致します。

山田英子(1) 夫婦2人で毎日元気に楽しく過ごして居ります。唯1人で遠くまで出かけるのは少し心配なので、残念ですがあきらめます。皆様に宜しくお伝え下さい。

若林省吾(1) 足の調子が悪いいため欠席します。

菅原靖(1) 体調不良により欠席致します。



子(1) 役員の皆様いつも有難うございます。ご盛会をお祈り致しております。

田中直子(1) お知らせありがとうございます。年なりに元気にはしていますが、ここ二、三年東京、函館遠くなりにけりつてとこです。ご盛会をお祈りしております。

石垣勝義(1) 体調不良のため欠席します。

増谷純雄(2) 80代の坂をノンビリ、たまあにボンヤリと登っている。ここ庄内の春はやや先になりそうである。菅原郁江(2) 一身上の都合により欠席致します。

北島松太郎(2) 体調があまり良くなく、歩行がづらくなり欠席させて頂きます。

田中東子(2) 体調が悪いので出掛けれませんが、残念です。

賀川勢津子(2) 本人は認知症となつており、ケアセンター通院中となっております。(娘代筆)

加藤東郎(3) 新年早々車で追突を受け、まだ少々具合悪いので今回は欠席いたします。

菊池不二子(3) いつも御連絡ありがとうございます。昨年秋通学路を歩き、西高時代をなつかしみました。御盛会をお祈りします。

外村弘臣(3) 足が悪く東京までは行けそうもありません。「函館の青柳町こそ恋しけれ友の恋うた矢車の花」「じつと手を見る」の心境です。

五十嵐譲二(3) 旅行中なので欠席になります。

清水和子(福士)(3) お知らせいただきましてありがとうございます。皆様にお逢いしたいのは山々ですが、残念ながら主人の介護をしております、長時間留守することが出来ません。皆様のご健康を願っております、よろしくお伝え下さいませ。

原加代子(3) 小学校、中学校、高校も廃校とはとても残念です。

柴田誠子(3) 長期入院中。

望月晴夫(3) 体調不良で残念乍ら欠席です。同期出席の皆様にくれぐれも宜しくお伝え下さい。

佐藤たい子(3) 元気です。家の仕事を手伝っています。

小島将(3) ご返事が遅くなり申し訳ありません。みなさまの一層のご健勝と同窓会のご盛会をお祈りします。

榎本武彦(4) 年齢には勝てず、腰足痛等で病院通いの日々です。ご盛会を祈念いたします。

高橋秀演(4) 会に欠席ばかりで申し訳ありません。でも、西高29会東京支部で年2回の会には極力参加し、元気を貰っています。最近、函館に旅

した友人達は、「はこだては、寂れた街だ」と言います。校名が変わってもつじは花一杯で欲しいですね。井上真澄(4) 幹事の皆さん、いつもありがとうございます。外出がしにくくなっていますので……。

札内達(5) 盛会願っております。会報は楽しみにしております。

小林幸子(5) 西高 5 回生は只今 80 才ですよ。西高がなくなると聞いて大変残念です。今でも西高の校歌をなつかしんでいます。「つじが丘に花咲けば集えり我が友ここにあり」

柴野三郎(5) 体調芳しからず欠席させて戴きます。当日の御盛会を心より祈念しております。

長沼伊季子(5) 西高の名前がなくなるのは校歌も応援歌も淋しいです。81 才になっても気持ちは 18 才ですの。

尾島由紀(6) 6 回生は今年 80 歳になります。気が持ちはすぐに青春にトリップできます。西高のうちにつじを観に行きたいのですが……。

永山幸子(6) 御盛会をお祈り致します。

高橋宏子(6) 足に不安がありますので、欠席致します。盛会をお祈り申し上げます。

小谷憲一(6) 申し訳ありません。体調不良のため欠席致します。

石井利正(6) 元気にしております。地域老人クラブ、元職 OB 会等の代表で忙しくしております。ハイキングなど楽しんでいきます。盛会をお祈り申し上げます。

山崎圭江子(6) 御盛会をお祈り致します。皆様に宜しくお伝え下さいませ。

せ。
山平尚子(6) ご連絡遅くなり申し訳ございません。
工藤恭一(6) ご案内ありがとうございます。

飯田剛一(7) ご盛会をお祈り申し上げます。

伊藤セツ(7) 市民運動、ボランティア、執筆などやっています。時間も貧乏です。

吉田耕治(8) 高齢且障害者に付欠席致度。

米田紀子(8) 同期の出席者がいませんので残念ながら欠席と致します。御盛会をお祈り申し上げます。

今修司(9) いろいろお手配ご苦労様です。

大谷長弘(9) 皆様にどうぞよろしく。お陰様で元気に過ごしております。

川崎弥生(10) 函館西高という名前がなくなる事にとて寂しさを感じています。高女、女子高、西高と 6 人姉妹が卒業出来たことを誇りに思っていました。

鈴木泰博(10) 現在自宅で療養中、体調不良でひとりでの外出はふらつき

があるため無理です。

木村美子(10) 初回(昭和 60 年)以来欠席で申し訳ご



ざいません。要介護 5 の夫の世話に右往左往の毎日を送っております。加野治(10) すみません、行けないので中井敬子(11) いつもお世話になっております。御苦勞様です。

上村陽子(旧 三国谷)(11) その時期帰函しております。お楽しみください。

亀谷勝(11) 都合がつかず出席できませんが、盛会を祈念いたします。

今谷功義(11) 大輔！無念！僕も遠距離と少しの体調不良のためごぶさたしていたが、新宿での 38 会二次会カラオケが最後になってしまった。御冥福を祈ります。

金澤昭雄(11) 私事旅行のため。

水野孝雄(11) お世話有難うございます。私は地域貢献の活動とボケ防止にピアノを習っています。

藤井由美子(11) 幹事さんはいつも大変御苦勞様です。

甲斐中曉美(11) 当日は予定があり、残念ながら欠席させて頂きます。31 年で西高閉校との事、少々寂しいですが当日は御盛会でありますように！

田口道子(11) いつもお世話になり有難うございます。所用の為欠席させて頂きます。御盛会をお祈り致します。

安藤優一(11) 現在入院加療中の為参加できません。盛会を祈ります。

葛西捷行(11) 現在通院加療中の為残念ながら欠席致します。

藤田旗江(11) 御連絡いただきありがとうございます。誕生日をむかえ後期高齢者になりますが、おかげで身体はまだ故障なくありがたく毎日過ごしております。皆々様のご健康を祈っております。

鈴木昭治(11) 毎回の御連絡まことに有難うございます。不義理を重ねておりまして申し訳ありません。

鈴木隆昌(12) 体調が思わしくないため。

時田敦子(12) 皆様のご健康を祈念致します。幹事の皆様いつもありがとうございます。年 2 回在日ロシア連邦大使館「大琥珀展」を開催しております。東京―函館は年 7、8 回帰っています。又、お元気で！！

岡田修二(12) 出席できず残念です。2 月に 3 組(12 回生)の仲間でミニクラス会をやりました。当時にタイムスリップし、大いに盛り上がりました。ご盛会をお祈りいたします。

秋山重子(12) 放送大のスクリーンと重なり、今回は欠席です。年令なりに元氣です。先日は台北市の故宮博物院を訪れ感動しましたよ。

三好美智子(12) 巴港を見下ろして学んだ教室、外国船が霧の中に停泊、大きな夢を育んだ西高時代！！

西田州子(12) 皆様の御健康をお祈り致します。

杉崎紀美子(13) いつも欠席で申しわけありません。

佐々木怜子(13) なんとか元気に生活しております。

石川増子(13) まだ現役で働いている為、土曜日は仕事で出席できません。残念!!。

山崎和雄(13) 役員の皆様御苦勞様です。先般久しぶりに函館の実家に行き、元町界隈を散歩してきました。西高を坂下から見上げ懐かしかったです。名がなくなるのは寂しい事です。

佐々木一博(14) 仕事の為欠席です。

加藤秀勝(14) ご案内ありがとうございます。ごさいます。今回都合悪く欠席させて頂きま。皆様宜しくお伝え下さい。鈴木雄司(14) 左下肢不安定なため遠出はひかえています。御苦勞様です。林元義(14) 盛会をお祈り申し上げます。来年の旅行地はどこになるのでしょうか？

森恭子(14) 御案内状どうもありがとうございます。ごさいます。御盛会を祈念致しております。

鳴海敏子(14) 元氣です。木津則子(14) 残念ながら欠席いたします。4月中旬頃股関節の手術の予定です。盛会をお祈り致します。

津澤和範(14) 鹿兒島、長崎へ出張中となります。なごやかな会になりますように。富岡稔(14) 仕事を続けております。参加出来なく残念です。

岩川孝夫(14) 幹事のみなさんいつも苦勞さまで。年齢のせいでしょうか、最近身体の不ふしに老化現象が出てきて歩行も不自由になってきました。今後共、総会、懇親会が更に発展されることを祈願致します。

勝亦ミエ子(14) ご承知とは思いますが、同期浜谷弘(旧姓昆弘)さんが平成28年12月に亡くなりました。訪問介護で支援に入っております。夏井秀夫(16) お世話になります。盛会をお祈りします。

松岡俊治(16) ついに古希の年令になりました。元氣にくらして居ります。同期の皆様によろしくお伝え下さい。久保木一郎(16) 会社勤務のため出席はできません。盛会を祈念してま。渡辺元(16) 小学校で放課後の「算数

教室」やっています。

大石佐保子(16) お世話になります。坂本睦子(16) 役員の方お世話様です。平野眞理子(16) 盛会を祈念します。河津和美(16) 都合がつかず申し訳ありませ。ご盛会をお祈り致します。山下幸代(16) いつも連絡ありがとうございます。ごさいます。

八重島智子(16) ご連絡ありがとうございます。ごさいます。

若松築子(16) 残念ながら先約があり出席できません。盛会をお祈り申し上げます。

三浦久美子(17) 叔母の法事があり函館に行きます。申し訳ありませんが、皆様によろしくお伝えください。

池永敏信(17) 年相応に健康に過ごしております。今回、他に予定が先に入っております。出席できません。皆様によろしくお伝え下さい。

山崎雅司(17) 当日は町内行事で出席できず申し訳ありません。時間的に2次会があれば出席したい。

佐藤俊一(17) 5月20日、函館に帰郷中の為出席出来ませ。境和子(17) この度は残念ですが、神戸と沖繩に所用が出来まして皆様にお会いできず、次回は是非出席したい気持ちです。同期の皆様、各係の皆様宜しくお伝え下さい。

佐々木進市(18) 所用のため参加できません。また会いましょう。

菅原潔(18) ついに西高等学校の名前がなくなるのですね。感慨深いものがあります。いつも連絡をして下さる事務局の皆様、有難うございます。従二元久(18) 体調不良につき欠席します。



関口精治(18) どうしても都合がつかず残念です。佐々木佳子(18) 都合がつかず残念です。

高橋福子(19) いつも欠席でごめんなさい。実家の母が半分寝たきり状態なのですが、そこへもあまり行かれず親不孝しています。

種井三喜男(19) 案内ありがとうございます。ごさいます。当日函館に滞在予定ですが、残念ながら欠席します。

平田芳明(19) 所用があり出席できません。まだ常勤で働いています。

野村光江(19) 休みが取れない為欠席させて頂きます。

北島庸子(19) 仕事でいけません。楽しい会になりますように！

小林泰博(20) 出席できませんが、宜しくお願い致します。自営業ですので、まだ自由に時間とれなくて。片桐信行(20) 体調不良に付、今回は出れば良いですが。平岡みゆき(20) 今回も欠席で残念です。返事が少し遅くなり御免なさい。岩崎泰(21) 体調不良になり欠席しますが、皆様の御多幸を祈ります。

吉田直樹(22) お手数おかけして申し訳ございません。前出法子(22) 閉校とは寂しいですが、歴史をつなぐ事になりうれいす。皆様お元氣で。

瀬戸聖司(22) いつも御連絡ありがとうございます。ごさいます。時々同期会も開かれているようです。

菊池浩行(24) 申し訳ありませんが、所要により欠席致します。鈴木直人(24) ご連絡有難うございます。幹事の皆様いつもお手数をお掛けしています。御苦勞様です。

近藤志津子(24) 5月は函館に行く予定なので欠席でお願い致します。皆さんに宜しくお伝えください。

三品弘利(26) いつもすみません。土曜日が仕事ですので参加難しいです。川口正廣(28) 西高閉校は残念ですが、新設校の発展を祈念致します。

久保タミ(29) いつも有難う御座います。旅行と重なったので残念です、皆々様に宜しくね。

眞島尚子(30) 閉校と聞きショックを受けておりましたが、ご案内につつじヶ丘にある校舎(残念ながら私が過ごしたのはその前の校舎ですが)使用と説明があり、安堵しております。

土矢一如(31) 皆様によろしくお伝え下さい。中川喜久則(31) 来月になり、母の体調、私の体調(ヘルニア、神経痛)が回復したら出席したいのですが、宜しくお願致します。名札は作りますので連絡下さい。

鎌田修司(37) 当日、息子の運動会のためどうしても出席できません。次回以降で出席したいと思います。

特別寄稿 (3)

箱館弁天町・廻船問屋
四代目 澁田利右衛門(蘭学・
心学者)と勝海舟「氷川清話」

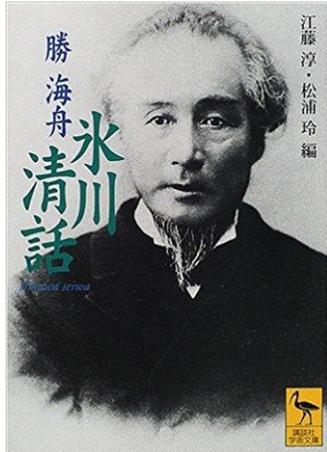
廣瀬菊枝(16 回生) 函館在住

貧乏旗本であった青年時代の勝海舟は、畳は破れたのが 3 枚、天井板はみな薪に使ってしまったほどの貧乏であった。勿論、書物など買えず、常に書林(書店)で立ち読み。この頃、勝海舟と箱館の澁田利右衛門が日本橋嘉七の書店で出逢うのです。いつも店先で蘭学書立ち読みしている貧乏書生を気に留めていた澁田は、懐から 200 両の金を出し、「これで貴方が珍しい書物を買ってお読みになり、その後は箱館の私へ送って下されば何より結構」といつて帰ってしまった。

いた。長崎に行く前、澁田は「万が一私が死んで貴下の頼りになる人が無くなつては」と心配し、灘の嘉納治右衛門、紀州の浜口梧陵、伊勢の竹川竹斎、何れも相当な経済力があり、いわゆる人物といわれていた人を紹介する。澁田はこれらの人達と普段から付き合っていて、日本や海外の事を語り合っていた可能性が十分考えられるのです。

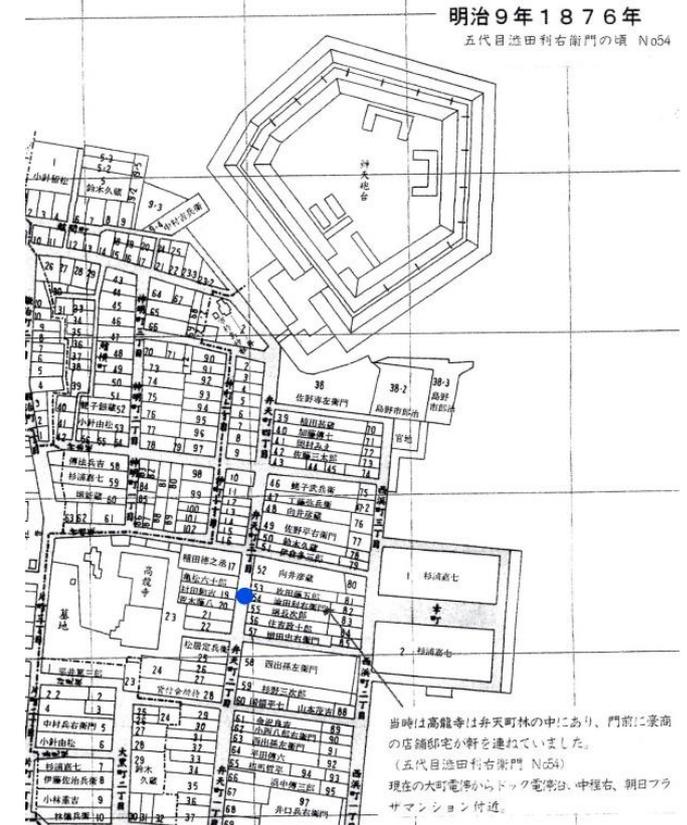
海舟は幕府の人間でありながら開国論者だったので、幕府からも尊王攘夷の志士からも敵扱いされ、双方にとでも神経を遣いながら生き抜き、結局自らの思想を貫いて勝利へ導きながら、何度も失脚し、刺客にも襲われています。生き抜くことができたのは奇跡ではなく、日頃の相当な鍛錬の結果でありました。剣の達人としても竜馬をしのいでいて、刀を抜かずにいかに相手にその気を無くするか、その一瞬の気迫に多くの人達が戦意を喪失させられていたそうです。

若かった海舟をスカウトした澁田の眼力は確かなものだったので



す。海舟は貧乏青年時代に、出逢った澁田を生涯を忘れることななく、澁田について「氷川清話」で 1 章分使っています。

明治 9 年 1876 年
五代目澁田利右衛門の頃 No54



当時は高龍寺は弁天町林の中にあり、門前に豪商の店舗印宅を建てていました。
(五代目澁田利右衛門 No54)
現在の犬町電停からドック電停、中塚右、朝日フラサマシオン付近。

弁天町澁田屋(●印)はもともと廻船問屋。貸船業、金融等々の多角経営。4 代目の時代は江戸へ大量の鮭など売りさばき、大層なお金をかけて沢山の珍本、有益な機械などを求め故郷箱館の人に説き聞かせることを一番の楽しみとしていた。それで、毎年春から数ヶ月間江戸に滞在し 1500 両もの大きな商売をしていた豪商です。その売り上げの内 600 両ほど使って江戸の書店を回って主に蘭学書(大変貴重な書籍ばかり)など多くの書籍を買い込みこれを箱館に持ち帰り、澁田文庫として箱館市民に開放していたといえます。澁田文庫は北海道の図書館の魁です。海舟は澁田死後、数万冊と言われた蔵書を箱館奉行に買い取ら

せ、蔵書は渡島支庁所在地に保管していましたが、明治 12 年の大火でほとんど焼失。しかしながら、洋学情報に要であった澁田文庫は、幕末から明治にかけて、膨大な予算が投入された幕府・明治政府直轄公共事業の弁天台場、五稜郭築城、また箱館海軍伝習所構想、医学所の設立構想等、近代国家を目指す男達の原動力になった可能性が大いにあったといえます。

澁田が江戸へ廻船し貸金勘定等商いの所用が済むと朝から晩まで毎日書林(書店)に出かけ、有名な学者や蘭学者を訪ね説を聞き理を論じていたとか。

天保年間にシーボルト事件等があったため蘭学と言えればかなり世

間の目が厳しく、危険な学問という扱いだだったので同郷同業の林儀介からやめるよう説得を受けていても、「なあに、話を聞いてくれるだけです。大丈夫ですよ。」と感謝しつつもやめる気配はなかったそうです。当時は蝦夷地一地方箱館の商人でしたが、筋金入りの蘭学・心学研究者であったのです。

歴史の表舞台に登場することなく、次の新しい日本近代国家を構想し、夢実現可能な若者の行動を資ける育成に財力労苦を惜しまず注ぎ、ここぞと思う若者を陰ひなたになり惜しみなく応援育成する。自らを他人に吹聴することも目立つこともなく、しっかりと国家の屋台骨となり、人を見抜く眼力、そして当時の日本を動かしていた財界・学者から信頼を受ける人間性を持ち合わせた四代目澁田利右衛門が箱館で活躍していたのが約170年前。

毎朝子豆を吹きながら、かつて澁田利右衛門があったご近所ですとすると同じ風にあたり呼吸をしているのだと思うと、なぜか鼻歌が出てしまうのです。

2017/3 はこだて元町二十間坂
志るこや 菊につ。

*「氷川清話」…勝海舟が晩年自邸に於いて生涯出逢った人物の人物像、時局批判等を自由に語ったもの。

「四代目澁田利右衛門が生きた約43年間の箱館人口推移」

文化12年(1815年)戸数831人口3645人
安政3年(1856年)戸数1998人口9480人。

◆エッセイ

幕末の箱館を舞台にした『箱館奉行所始末』に続いて、森真沙子さんの新シリーズ「時雨橋あじさい亭」が始まりました。新作執筆のきっかけについて寄稿してもらいました。

新シリーズは幕末の「怪人」

山岡鉄舟が主人公

森 真沙子 (11)

山岡鉄舟という人は、一般にどのようなに知られているだろうか。

かれは下級幕臣として幕末動乱を生き、三十二で維新を越え、三十六で明治天皇の侍従に迎えられた。"とんでも人間"だが、その他にも実に多彩な顔を持っている。

勝海舟、高橋泥舟と並んで、幕末に大活躍した三舟の一人……。"鬼鉄"と呼ばれた千葉道場の天下無双の剣客……。徳川慶喜の密命をおび、敵参謀の西郷隆盛が布陣する駿府に乗り込んで、無血開城の道を開いた命知らずの幕臣……。

だがそれらは、明治になって語られるようになった顔であり、維新前は、ほとんど無名の貧乏な御家人にすぎなかった。

御一新という、日本を上げての大変革がなければ、もしかしたらその名はほとんど埋もれてしまったかも? 何故かという、かれは出世欲、名誉欲、金銭欲とはまるで無縁の人物で、自ら名利を求めたり自己宣伝したりするようなことはないからだ。

西郷に会うため、東征軍のぎつしり駐留する東海道を抜けていく時、「朝敵、徳川慶喜家来、山岡鉄太郎まかり通る」と大声で呼びわりながら敵陣を突破し、無傷で本営に辿りついた。それを知った西郷は胸うたれ、後に勝海舟に「あんな金も、名誉も、命もいらぬという人は始末に困るものだが……そのような人であれば、天下の大事はなしとげられぬ」と言った話は有名である。

こんなカッコいい人物が、一体どうして作られたのだろうか?

無名幕臣がなぜ、明治天皇の家庭教師まで踊りでたのか?

そこを私は知りたいと思ったが、明治に入ってからの中身鉄舟は多く書かれているけれど、二十代までの若き「鉄太郎」は、あまり書かれていないようだ。

そんな数少ない資料をパラパラと読み進むうち、仰天するほど破天荒な若者の姿が浮かび上がってきた。中流旗本の若殿に生まれながら、はるか格下の御家人山岡家にムコ入りし、わずかな禄は家にいれず、すべて「色道修業」につきこんでいたという。

小石川の拝領屋敷に住んだが、壁も天井も剥がして薪にし、畳も質にいられて家の中はボロボロ、一年一枚の着物で通したから着物もボロボロ。ゆえにボロボロと呼ばれたこと。食べるため近所の山菜を摘み尽くした……等々、極貧ぶりを語る逸話に事欠かない。

一方で、火のでるような激しい剣術修業に打ち込み、大酒をくらい、攘夷運動に加わり、閉門蟄居の身にもなった鉄太郎がいる。

幕臣にとって地獄であっただろう幕末という時代を、これほど晴朗に駆け抜けていった人物が、他にいないだろうか。山岡鉄太郎という人は、この疾風怒濤の時代、激しい地殻変動で土の間から顔をのぞかせた「原石」のような人だった。そんな怪人ぶりに誘われたこと



が、この若い野放図な若者を中心に据え、幕末を描いてみたいと考えた理由である。

ただ国を上げての動乱期とはいえ、上野のお山でドンパチがあれば「何か騒いどるのう」としか思われぬ人がいた。官軍が「宮さん宮さん、お馬の前にヒラヒラするのは……」と薩長の軍歌を唄いつつ江戸城に進軍すると、この「トコトン江戸攻撃をヤレ」という意味のトンヤレ節を「カッコいい」と大流行させてしまふ江戸庶民がいた。

こうした人々も含めてのお江戸だから、物語には「あじさい亭」という溜り場を設定し、お菜という無垢の少女の目を通して、ストーリーを進めていくことにした。

すでに刊行した第 1 巻は、そうした鉄太郎を取り巻く環境を主に描き、三月に出した 2 巻では、江戸庶民の面白さを描いたつもりだが、さて仕上がりはどうだろうか。今年の桜が咲きはじめるころ、谷中の「全生庵」にある鉄舟の墓に詣で、勝手に名を使わせて頂く無礼を心よりお詫びした。

前シリーズ「箱館奉行所始末」もそうだが、幕末は面白い。こんな時代でなければ生まれぬ怪人たちが、あちこちを闊歩している。

●一見時代小説文庫 定価 700 円。購読にはオンライン書店が便利です。<http://www.futami.co.jp/f/b/>

投稿

俺たちの旅

竹澤 秀明 (17)

私には、趣味の一つとして旅がある。今までに海外 20 カ国、国内は 47 都道府県を旅してきた。

旅の目的、それは歴史好きな私にとって、今は名所旧跡等の遺産の見学が主である。それが高じて定年退職後、大学に入学し「文化財歴史学」を学ぶまでになった。

話がそれそうなので元に戻そう。旅を始めるキツカケは新婚旅行である。40 年前の当時はスキーに夢中で、ヨーロッパを滑るのが夢。長期休暇を取るにはこれしか無いと 12 日間をもらい、リゾートクラブ(シャモニー、パリ)での休暇を楽しんだ。毎日違うグレンデ、14 km の氷河滑走、そして同じホテルでの



1 週間は海外の人の触れ合いが、有意義であった

た。戦後 30 年の当時、同宿のフランス人はドイツ人とは口を利くことはなかった。ある老夫婦からフランスに来るならフランス語を話せるようにとチクリ。アメリカ人は、ヨーロッパでは浮き気味でいつも我々に話かけてきた。

旅にはハプニングが付きもの。新婚旅行のパリでは、会社の研修旅行の一团とバッタリ。エジプトでは、警察の護衛付で移動。それでも数ヵ月後には日本人を含む多くの人が殺され、1 カ月前にもイギリスの観光団が強盗に襲われていた。カイロのホテルでは、TV ニュースで「地下鉄サリン事件」を報道していた。ロサンゼルスでは、トランジット入国特別室に連れていかれ 30 分以上拘束され、帰国便に乗り損なうところであった。拘束理由は不明。オーストラリアでの車上荒らし。メキシコのセノーテでの盗難。中国ではツアー仲間が撮影禁止場所での撮影が見つかり、その場でフィルム没収、連行されたが添乗員が袖の下を渡しフィルムだけで済んだ。訪問地は世界遺産が中心であるが、日本の尺度では測れないスケールの大きさ、古代人の偉大さを感じる。

マチュピチ、マヤ遺跡、ピラミッド、万里の長城、兵馬俑、サハラ砂漠、ビックロック、そして砂漠で朝日を見ながらの朝食・満天の星空の下での夕食は、写真では決して分からない経験であった。お国柄・国民性の違いに驚くのが海外旅行であり「郷

に入っては郷に従え」である。

子供達が小さい頃は、テントとキャンピング道具を積んで出かけ、子供達が手を離れてからは夫婦でマイカーを改造して遠出をしている。最近では寺・城・温泉が目的地となり、旅行会社のツアーも利用しているが、夫婦だけの時は、気軽に車をベトナムメイクして、手製のテーブルや食器を積んで最終目的地と日ごとのみを決めて出発。道具といっても家にある鍋や食器を利用するだけである。寒い季節には毛布、布団は勿論の事、湯たんぼも持参。夏には窓に防虫用の網戸を付けて行き当たりばつたりの旅を楽しんでいる。今ほど「道の駅」がない時代、高速道路の SA、田舎では学校の校庭の片隅に駐車させて頂き、旅を続けた。九州一周 12 日間の時は、走行距離 4 千 km を超えたが、豪華一点主義で指宿一の旅館以外は車中泊を敢行。年平均 1 万 km を走っている。今年のモロッコ旅行、片道 24 時間はさすがに年を感じた。欧米の 12 時間間が限度かな。まだ行きたい所があり、旅費と健康維持のためアルバイトを続けていこうと考えている。



間が限度かな。まだ行きたい所があり、旅費と健康維持のためアルバイトを続けていこうと考えている。

生きている函館公園

佐々木進市（18）

函館市役所の資料によると函館公園の住所は「函館市青柳町17番地」。青柳町といえば、私は石川啄木さんと益田喜頓さんを思い出すのです。石川さんは短い間ですが青柳町の住人でした。益田さんは青柳町で生まれ、長い間東京で活動していましたが、晩年は函館に帰郷してそこで亡くなりました。

函館公園ができたのは明治12年ですから、そのずっと後に青柳町に住んでいた石川さんや益田さんがすぐ近くの函館公園を利用したことは「確実」だと思っています。それで、私はお二人を函館公園「ゆかりの」有名人に「認定」しているのです。公園内には石川さんの句碑が立っています。

函館の青柳町こそかなしけれ
友の恋歌
矢ぐるまの花

「友」とは本当に友達のことだという説と、妻のある自分自身が恋をしていることがばれないように「ごまかして」友の字を使ったのだという説があります。

函館公園は青柳町の中だけにあ

るわけではありません。青柳町の電停から坂を登っていくと公園の正門につきあたりますが、その一帯が青柳町で、正門に向かって左手に今度は電車道と並行して坂を下っていくとそこは谷地頭町です。その左側、つまり海側には住吉町があります。函館公園はこの3つの町に囲まれた公園で、当然その日常的な利用者は3町の住人が占めているのです。

私はその門を抜けて真っ直ぐ行くくと市営谷地頭温泉に突き当たるという谷地頭町側にある公園の出入り口のすぐ近くで生まれました。昭和24年の夏のことです。家の隣が公園でしたので、函館公園は文字通り私の「庭」だったのです。

函館西高卒業生の28歳の青年3人が、函館公園の研究をしていて、その成果を日本造園学会で発表した、という記事が北海道新聞函館版に載ったのは、今から40年前のこと



函館公園と函館山

です。なぜ40年前とわかるかという理由が簡単です。私が今年68歳になるからです。

3人の青年。その内の1人は私です。もう1人は田畑裕己君。田畑君と一緒に上京して、50年たった今も、付き合いが続いています。3人目は渋谷全市君。渋谷君は40歳くらいで「勝手に」死んでしまいました。彼は高校を卒業してから死ぬまで、ずっと函館のデパートの社員でした。田畑君は潮見中学校から、渋谷君は谷地頭小学校からの友達です。私達のことを北海道新聞に載ったのは、それなりの順番があったのです。

まず渋谷君と2人で、その時はまだ公園の中にあつた函館図書館に行つて、館長さんに面会して研究のための資料提供をお願いしたので。館長さんは女性の方で、優しく相談にのってくれました。次にその館長さんの紹介で北海道新聞の函館支社を訪ねたのです。それで、私たちのことが記者さんに知れて、早速、記事になったという訳です。

この40年の間に函館公園の「都市遺産」としての価値は、函館と函館公園を愛するみんなの力で、かなりの程度高まりました。しかし、それはまだ十分なものではありません。函館公園の素晴らしさはもつともつと知られていかなければならぬだけの価値を持っていると、私たちは考えています。その価値を広く社会に公開していくためには、未だ



旧函館博物館1号

に不十分な函館公園に関連する様々な情報の収集とその内容の吟味が急務です。その実例を一つ上げましょう。

世間に出回っている多くの資料によれば、函館公園建設は英国領事のリチャード・ユースデンさんが地の有力者、例えば渡辺熊四郎さんなどに提案して始まったということになっています。本当にそうなのか、という疑問を持つ人はほとんどいない状態です。でも、実際はちがうというのが私たちの意見です。なぜかというところ、ユースデンさん自身が「そうではない」と言っているからです。彼がそう言っているという証拠を私は持っています。その証拠を私に提供してくれたのは渋谷君です。彼は私たちの活動が北海道新聞に載つてから、別途1人で函館図書館に行き、関係資料を収集してくれたのです。

渋谷君からもらった資料による

と、公園建設を地元の有力者に提案したその人は彼の奥さん、つまり「ユースデン夫人だった」のです。証拠とは領事夫妻がイギリスに帰国することになって開かれた何回かの送別会の一つでの領事の演説の毛筆で書かれた日本語訳です。

「登場人物」もまだまだ主役級の方が埋もれたままになっています。前述の「ユースデン夫人」に加えて、たとえば「孤山堂無外」さんなどはどうでしょう。この人は函館公園の管理人に指名され、公園の中に家を立てて住んでいた人物です。今の茨城県から出てきて、江戸を経由して江差から函館に至り、最後は函館八幡宮の神主として亡くなります。有名な俳句の先生で「あの」中島三郎助さんや土方歳三さんの「友達」でもありました。

その他強調したいことはまだあるのです。たとえば、函館公園は「日本最初の公園だ」ということ。このことを主張するのに遠慮は無用、というのが私たちの立場です。

明治 6 年に政府（太政官）から日本各地に公園をつくらう、という指示がでたのですが、それを受けて最初は東京の上野公園などすでに公園の「ような」状態にある土地を公園「として」市民に「開放」していたのです。そのような「開放」されてきた公園」に対して、函館公園の場合は何もない荒地地のような土地を「新たに造成してできた公園」の日本第 1 号なのです。そして、そ

の造成過程で、市民からの資金提供や労働力提供など受けてできなかったことから「大規模な市民参加によってできた公園」という、これも日本第 1 号なのです。こんな「お国自慢」のいい材料（ネタ）を自ら放置する手はないのです。

私たちが函館公園を「研究」して 40 年以上たち、その間、世に公表した成果は微小です。一生は短く、ほかにやるのがたくさんあるもので、この研究が自分が生きていうちに「完成」あるいは「完結」するとも思えません。そうであっても、前を向いて少しずつ進んでいく覚悟の私たちです。

函館の大火とこれから

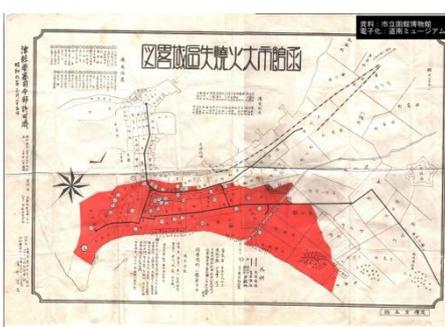
今 修司（9）

関東在住の同期が「海峡の鎮魂歌」（熊谷達也著、新潮文庫）を送ってくれた。少年時代を過ごした青柳町の会所町なんて町名が出てきて、ついつい懐かしく夜更かしをした。明治末期生まれの潜水夫・泊敬介が、昭和 9 年大火、昭和 20 年空襲、昭和 29 年洞爺丸台風に人生を揺さぶられていく物語である。

小説では、昭和 9 年 3 月 21 日午後 7 時住吉町から出火し、翌午前 6 時まで燃え続け、消失建物 1 万 1 千棟被災戸数 2 万 2 千戸、死者 2 千 166 人、重軽傷者 9 千 500 人、罹

災人口 10 万 2 千人、当時の人口が 20 万人ほどの時代である。昭和 20 年 7 月の空襲では青函連絡船 10 隻沈没・座礁炎上し死者 300 名、市街地では爆撃と機銃掃射で 400 戸が消失し 79 名が死亡。昭和 29 年 9 月の洞爺丸台風では洞爺丸 4 千トをはじめ、3 千ト級の第 11 青函丸、北見丸、日高丸、十勝丸が沈み、死者行方不明者千 430 人、生存者わずか 202 人という未曾有の惨状が描かれている。

幾度もの大火から広い道やグリーンベルトが作られ、連絡船に代わり新幹線が開通した。また、衰退する北洋漁業、造船業や水産業を脱皮し、倉庫をレンガのショッピング街に。匂いの酷かったイカから珍味を考案し、蠅だらけだったイカ干しからスルメに、干し放しだったコンブからガゴメに着目し名物に変えた。「行ってみたい都市」の一つとして函館山からの夜景や西高からの坂道が喧伝される。わが故郷函館が、



小説にあるように、ほぼ 10 年おきの大災害にもかかわらず見事に立ち直って再興さ



れているのは、何とも嬉しく、いたいどこにそんなエネルギーが隠されているのだろうかと思う。私は、

弁天町で生まれ、十字街で育ち聖パウロ幼稚園、青柳小学校、谷地頭中学校、函館西高校の西部育ちである。月 1 回の丸井の食堂のオムライスが絶品、冬は電車通りがスケート場で当時一世を風靡していたロシアのスケーター「ゴンチャレンコ」の真似が流行り、ソリは二十間坂で「されよーい」と一気に降りた。こんな幼少青春時代を過ごせた故郷に感謝するとともに、今後の函館の繁栄を祈りたい。

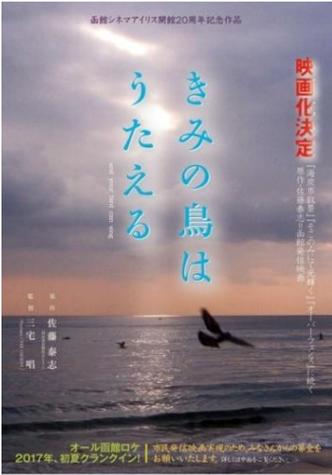
58 回目の今年の同期会は喜寿を迎え、10 月に松島で行うとの便りが届いた。ここ数年、地震、津波、火山噴火そして原発を身近に感じるようになり、今年はトランプさん、プーチンさん、習さん、金さんに翻弄されている。また 50 年後には人口が 1 億人を割り GDP も 10 位以下が予想される日本の中で、わが街函館はどのような姿になっているのだろうか。

作家・佐藤泰志(18回生)原作映画
第4弾『きみの鳥はうたえる』
 2018年秋、公開予定

井田 ゆき子 (20)

われらが函館西高18回生の作家・佐藤泰志。彼は惜しくも1990年10月、41歳で亡くなったが、それから20年後の2010年、小説『海炭市叙景』が映画化されたのをきっかけに、すべての小説が復刊、文庫化されてファンが増え、佐藤泰志ブームが巻き起こっている。

さらに、今年は、彼の初期の小説『きみの鳥はうたえる』の映画化が決定。過去の3作に続いて今回も故郷・函館を舞台に制作されることになった。6月からオール函館ロケで撮影され、公開は来年の予定だという。佐藤作品の映画化は前述の『海炭市叙景』、『そのみにて光輝く』(14年)、『オーバー・フェンス』(16年)に続いて4作目。札幌市出身の若手映画監督、三宅唱さんがメガホ



ンをとる。

『きみの鳥は』は、佐藤泰志が32歳の時に発表し、初めての芥川賞候補となった作品だ。郊外の書店で働く主人公と、一緒に暮らす失業中の静雄、そして2人の男に愛された佐知子の物語。青春のきらめきと焦燥感がみずみずしく描かれている。小説は1980年代初めの東京の郊外の街が舞台だが、映画は現代の函館に移して撮影される。

過去の3作に続いて企画・制作・プロデュースを手がけたのは、函館市民映画館『シネマアイリス』代表の菅原和博さん。「これまでの3作は佐藤さんの中後期にあたる作品を取り上げましたが、今回は初期の作品。僕は、佐藤文学のいちばんの魅力は初期の青春小説にあると思っています。シネマアイリスの20周年記念作品として、彼の代表作の映画化を決めました」という。

そこで、映画実現のために、函館市民はもとより、佐藤文学ファン、映画ファンを対象に募金活動を行っている。同窓生の皆さんも是非ご協力をお願いしたい。

◎ 問い合わせ／映画「きみの鳥はうたえる」製作応援団 事務局
 *シネマアイリス
 ☎0138・31・6761
 ★詳細はホームページ
<http://cinemairis.com/>
 kiminotori/

◆ 回生だより

13回生 今年第1回目の同期会

3月22日銀座ライオン汐留で開催し、5月の東京支部の総会・懇親会への出席を促した。また、函館の仲間への参加呼びかけを皆でする様にした。久しぶりの会で互いに話に盛り上がり、恒例の二次会(カラオケ)へ15人、更に三次会へ10人



と盛り上がった会でした。もう既に古希も過ぎたのに皆さん元気がいっぱいでした。(斉藤勝美)

24回生 新宿三丁目で開催

3月25日に、新宿3丁目高級居酒屋?で同期会を開催しました。参加者は10名でした。いつも参加していた後藤久子さんが2月に菓石効果なく長逝致しましたので、後藤さ



駅方向へと消えていきまして。今回も、いつものながら楽しい同期会でした!(鈴木直人)

んを偲び献杯から始まりました。彼女は、2年前の芝プリンスホテルでの還暦同期会では、大変お元気でしたので、その時の思い出話から自然とスタートしました。その後、健康談義へと話は進み、高校時代の思い出話(特に当時の男女交際の話はやっぱり色々あって大変面白い話題でした。)から孫(映像付き)の自慢話へと変わり、最後は一番身近な年金問題へと大変盛り沢山な内容でした。

あつという間に、予約の3時間を超えてしまい、2次会のカラオケへと自然に足が向いてしまう8名でした。当時の思い出の曲を中心に、隙間なくリクエストが入り2度も延長し、皆さん満足だったようです。さすがに、交通の便が良い新宿でも、午後11時近くになってしまいましたので2次会終了後、皆さん足早に

事務局活動報告

事務局長 齊藤勝美 (13)

1 第17回総会・懇親会会場選定。
平成28年度学年幹事会開催。

2 (31名出席、26学年+委任状8学年) ①平成28年度事業報告及び会計監査報告。②平成29年度事業計画及び予算案の検討。③第17回総会・懇親会会場は椿山荘・ジュピターに決定。

3 ④役員改選。⑤その他。

4 各学年の名簿整理(各学年幹事の判断で整理)425人の一次削除。現会員総数 1657人。未処理回生 (1・2・6・7・8回生)。

5 本支部・他校交流出席者選定。事務局会議8回開催(事務局会議・会報16号・17号編集会議・発送業務、第17回総会・懇

6 親会の準備。
同期会補助金(8件)の処理及びホームページ運営。

役員(常任幹事)

名誉会長 新谷義克(1)
顧問 小西弥生(高女38)、成田慶子(高女2)、郷内繁(4)、小嶋俊昭(10)、若林英毅(11)

会長 佐々木太郎(14)

副会長 堀内洋子(14)、高橋順吉(17)

学年幹事会幹事長 竹澤秀明(17)

副幹事長 佐藤雅英(18)

事務局長 齊藤勝美(13)

書記 高村亨(20)、井田ゆき子(20)

会計 西山和子(23)、小林多美(24)

会計監査 森加代子(13)

総務部長 三村寿雄(13)、総務担当

洞田雅子(14)、安原秀樹(18)、折田

信一(18)、青木保(21)、平友則(21)、

野口卓史(27)、石馬場裕子(35)

広報部長 若林郁雄(14)、広報担当

井田ゆき子(20)、土矢一如(31)、佐々

木雅子(32)、山越准司(32)、長谷川好広(32)

【平成28年度 つづじヶ丘同窓会東京支部 会計報告】

自 平成28年 1月 1日
至 平成28年 12月 31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰入金	2,895,614	同期会補助金	40,000
年会費(振込) 477件	900,550	交流費	80,000
年会費(現金) 52件	104,000	旅費交通費	80,000
本部補助金	30,000	会議費	24,061
預金利息	249	通信費	206,082
		事務費	27,869
		会報関連費	279,940
		印刷費	36,662
		事務局費	120,000
		HP関連費	150,000
収入計	1,034,799	支出計	1,044,614
		次期繰越金	2,885,799
合計	3,930,413	合計	3,930,413

【繰越金内訳】

前日本郵政 2,852,307円
現金 33,492円
合計 2,885,799円

以上会計事項について監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

平成29年1月27日
会計監査 13回生 森 加代子

物故会員

平成29年4月20日までに事務局へご連絡を頂いた物故された会員です。ご冥福をお祈りします。
相馬敦子(高女31)、

稲葉さん(高女32)、木下清子(高女32)、佐藤ゆり(高女32)、三野タケ(高女34)、渡辺文江(高女34)、熊谷京子(高女35)、堤洲子(高女40)、小林ケイ(高女40)、岡本ヒデ(女子1)、湯川成子(女子2)、宮村邦夫(3)、工藤功(4)、亀田重恵(4)、秋濱好文(5)、鈴木靖(6)、工藤宣(7)、奥寺康正(7)、田中潤一(7)、坂本與司郎(7)、田中正身(8)、佐々木俊郎(9)、齋藤宏(11)、田野中仁一(11)、枝窪義明(12)、浜谷弘(14)、徳佐利江(15)、大森康生(15)、山田順一(22)、嶋田耕爾(22)、横田久子(24)。

会員の皆様にお願ひ

東京支部活動の充実のために
年会費(2千円)納入にご協力を
会計報告にありますように、同窓会は年会費と総会・懇親会会費で運営されています。同窓会活動を今後とも維持・活性化していくために、会員の皆様のご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

★同期会開催補助(年一回)のお知らせ

東京支部では、同期会の活性化を目的に平成24年より、会員が同期会を開催した場合に、開催報告をホームページに掲載することを条件に年一回五千円の補助をしております。既に二桁の回生がこれを利用しております。

ゴルフ会参加者募集

補助を受けるには、申請書を提出する必要があります。補助の申請書は東京支部ホームページからダウンロードすることが出来ます。

東京支部では、春、臥牛会(函館公立高校親睦会)、秋、西高ゴルフ会のコンペを定期的に開催しております。皆さん、一緒に楽しみませんか。参加ご希望の方は、下記の幹事までご連絡ください。

三村寿雄(14回生) 090-8513-4497
竹澤秀明(17回生) 090-6797-7092

《編集後記》

西高の沿革を見ると「1905年北海道庁立函館高等女学校として開校。1948年北海道立函館女子高等学校と改称。1950年北海道函館西高等学校と改称、男女共学化、定時制課程設置。1983年(現)校舎に移転。」

2011年 定員200名から160名。
2017年 募集定員120名へ。
2019年 3月31日閉校予定。同4月1日より本校を母体校として北海道函館稜北高等学校を統合し、新設校として開校予定。」

私達の時代は定員450名位だった。首都圏とは違い、地方都市の衰退と人口減少・縮みゆく社会を改めて認識せざるを得ない。
(若林郁雄 14回生)

座席表 (敬称略)

平成29年5月2日 現在

司会台

ステージ

5回生・10名
 藤代 小野寺 西牧 西牧 吉田 塚本
 佐藤 粕谷 長澤 太田

3回・6名/4回・4名
 山村 郷内 木寺 柴田 宮崎 高橋
 三上 柴田 長澤 徳田

来賓・10名
 中山 小松 中村 香提寺 本間 工藤
 垣坂 横井 道下 三丞

恩師/32回・7/会長他1
 会長 吉田 佐々木 長谷川 矢富 佐々木
 竹澤 山越 本間 高田

高女・女子2・6/1回・3名
 田槇 染木 鳥本 小西 成田 土井
 新谷 松本 茂木 緋後

高女41・女子2・10名
 小林 丹代 中村 荒木 吉元 高木
 梅津 海老沢 金丸 田村

19回・9名/29回・1名
 川瀬 原島 浅倉 高野 齋藤 栗原
 古館 渡辺 中居 藤谷

16回・8名/27回・2名
 中山 猪 村元 滝口 佐々木 鈴木
 飯田 野口 対馬 小海老沢

10回・7名/2回・3名
 廣瀬 納代 松田 高見 福井 小嶋
 村田 松本 徳永 桜川

12回・8/7回・1/8回・1
 外岡 工藤 土井 石山 最上 小河
 大塚 小川 布施 伊藤

11回生・10名
 菅原 田村 岩尾 岸田 植木 村岡
 新井 石橋 神田 深江

6回・6名/演奏者・2名
 笠川 時田 塚本 東郷 奥村 西野
 緋後 緋後 演奏者 演奏者

18回生・10名
 佐藤 浜 中川 藤井 河野 馬場
 茅原 菊地 松田 竹田

20回生・10名
 桜井 津野田 高木 井田 藤川 三部
 松田 加藤 矢澤 二階堂

13回生・10名
 木村 根本 金谷 高野 長津 堀口
 広田 三村 佐藤 森

14回生・10名
 山崎 村元 天野 平田 堀内 新野
 洞田 小鳥 稲田 竹森

17回生・10名
 齋藤 櫻田 市野 高橋 高橋 谷杉
 岩方 鴻池 工藤 大西

9回5/11・14回2/18回3
 中村 徳田 本田 安原 渡辺 折田
 北川 森 若林 若林

18回生・10名
 西田 花田 吉田 能登谷 酒井 三浦
 水上 山本 岩瀬 伊藤

20回・5/21回・3/29回・2
 牛田 東出 板垣 守屋 熊谷 三上
 大友 砂戸 平 青木

13回・9名/15回・1名
 成田 坂本 小玉 小越 齋藤 木村
 花木 白石 中山 森越

14回・7名/38回・3名
 田端 小坂 釜范 吉見 原田 小山
 細見 中村 草皆 平野

22回・3/24回・6/35回・1
 石馬場 大谷 根本 武石 小林 佐藤
 福田 京極 関口 佐々木

事務局席
 19
 会計・二次受付

料 理 卓

料 理 卓

喫煙コーナー

飲み物・デザート (庭園側)

パンフ・その他 配布

入口 配布